

令和6年度  
長野市放課後子ども総合プラン事業  
自己評価集計結果

長野市こども未来部こども政策課

## 令和6年度 長野市放課後子ども総合プラン事業 自己評価集計結果

長野市放課後子ども総合プラン事業ガイドライン（平成30年3月策定。以下「ガイドライン」といいます。）に基づき、令和6年度（令和5年度）における放課後子ども総合プラン事業の実施内容等について、実施場所ごとに自己評価を行いました。

### 《長野市放課後子ども総合プラン事業ガイドライン》

#### 第2章 基本的事項及び管理運営

##### 10 自己評価

事業者は、運営内容の向上のため、実施場所ごとに提供する支援の内容等について自己評価を行い、その公表に努めるものとします。

#### 1 実施状況

対象：84施設 実施：84施設（実施率100%）

（参考：令和5年度 対象86施設 実施86施設（実施率100%））

#### 2 評価方法

評価項目内の評価指標ごとに○または×で回答し、評価項目全体の「○」の数によって◎、○、△、×のいずれかの評価を算出する。

#### 3 集計結果（評価項目ごとの評価指標等については、次頁以降）

評価項目	評価結果				
	区分	◎	○	△	×
1 人権への配慮、秘密の保持等、基本的事項に関すること	R6年度	84施設	0施設	0施設	0施設
	R5年度	86施設	0施設	0施設	0施設
2 運営管理に関すること	R6年度	33施設	51施設	0施設	0施設
	R5年度	40施設	40施設	6施設	0施設
3 育成支援の内容に関すること	R6年度	77施設	7施設	0施設	0施設
	R5年度	70施設	16施設	0施設	0施設
4 配慮を要する児童への対応に関すること	R6年度	79施設	5施設	0施設	0施設
	R5年度	72施設	12施設	2施設	0施設
5 多様な体験活動、交流等の機会の提供に関すること	R6年度	52施設	28施設	4施設	0施設
	R5年度	47施設	23施設	13施設	3施設
6 安全管理に関すること	R6年度	78施設	6施設	0施設	0施設
	R5年度	72施設	10施設	4施設	0施設
7 保護者、学校及び地域との連携協力に関すること	R6年度	78施設	5施設	1施設	0施設
	R5年度	63施設	22施設	1施設	0施設

《評価項目1》人権への配慮、秘密の保持等、基本的事項に関すること

評価結果				
区分*	◎	○	△	×
R6年度	84施設	0施設	0施設	0施設
R5年度	86施設	0施設	0施設	0施設

◎ ○ △ ×

○、△、×は該当施設なし

※評価指標の「○」の数が4個⇒「◎」、3個⇒「○」、2個⇒「△」、1個以下⇒「×」

《評価指標》

(○の占める割合)

<p>① 児童及びその家族の人権に十分配慮し、一人一人の人格を尊重している。</p>	
<p>② 児童及びその家族の国籍、信条又は社会的身分等によって、差別的な扱いをしていない。</p>	
<p>③ 児童虐待等、児童の心身に有害な影響を与える行為をしていない。</p>	
<p>④ 児童及びその家族の個人情報を適切に取扱っている。また、正当な理由がなく、業務上知り得た児童及びその家族の秘密を外部に漏らさないよう配慮している。</p>	

結果

①～④について、全施設で児童やその家庭の人権の尊重やプライバシーの保護の重要性が認識され、情報の管理が徹底されている。

施設コメント（主なもの、参考となるもの）

- ・ 職員の連絡会を毎日もち、起きた問題について周知をはかり、対処について必要に応じて協議をしている。
- ・ 児童の個人情報については施錠ができるロッカーに保管しており、全職員が内容について守秘している。
- ・ 児童一人ひとりの特性に配慮し、一人の人として接している。
- ・ 児童の人権を大切にして、真剣に話を聞き対応している。
- ・ 研修資料を打ち合わせ会で読み合せている。

## 《評価項目2》運営管理に関すること

評価結果				
区分*	◎	○	△	×
R6年度	33施設	51施設	0施設	0施設
R5年度	40施設	40施設	6施設	0施設

◎ ○ △ ×

0% 20% 40% 60% 80% 100%

×は該当施設なし

※保育実費の負担を求めている施設（①～⑨）

評価指標の「○」の数が9個⇒「◎」、7・8個⇒「○」、4～6個⇒「△」、3個以下⇒「×」

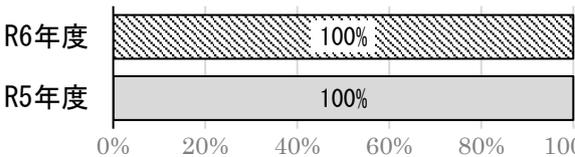
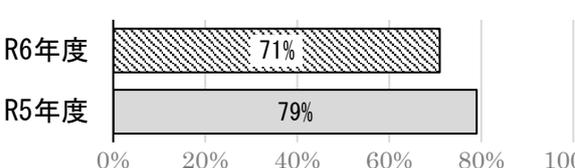
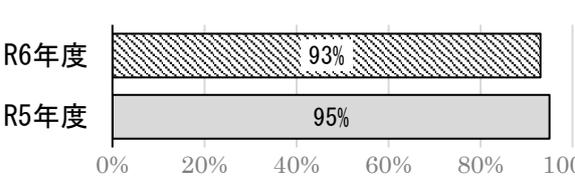
保育実費の負担を求めていない施設（①～⑨）

評価指標の「○」の数が8個⇒「◎」、6・7個⇒「○」、4・5個⇒「△」、3個以下⇒「×」

### 《評価指標》

（○の占める割合）

① 実施日は、1年につき250日以上を原則とし、保護者の就労状況、学校の授業日、その他地域の実情を考慮して設定している。	<p>R6年度 100%</p> <p>R5年度 98%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
② 運営規程を定め、運営規程に沿った事業運営を行っている。	<p>R6年度 100%</p> <p>R5年度 97%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
③ 職員は、自己研さんに励み、児童の健全な育成を図るために必要な知識及び技能の習得、維持及び向上に努めている。また、職員間で必要な知識及び技能の共有を図っている。	<p>R6年度 99%</p> <p>R5年度 99%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
④ 運営内容向上のため、提供する支援の内容等について自己評価を行っている。	<p>R6年度 100%</p> <p>R5年度 100%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
⑤ 自己評価の結果は、掲示板への掲示や通信（施設だより等）への掲載などにより公表に努めている。	<p>R6年度 63%</p> <p>R5年度 57%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
⑥ 要望・苦情を受け付ける窓口を設置し、周知している。	<p>R6年度 100%</p> <p>R5年度 91%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>

<p>⑦ 苦情を受けた場合は速やかに対応し、申立人に対して丁寧な説明や対応を心掛け、誠意ある解決を図っている。</p>	 <p>R6年度 100%</p> <p>R5年度 100%</p>
<p>⑧ おやつを提供については、保護者の意向を把握するためのアンケート調査を地域の実情に応じて実施し、運営委員会で決定した方針に基づいたものとしている。</p>	 <p>R6年度 71%</p> <p>R5年度 79%</p>
<p>⑨ おやつ代等保育実費の負担を求める場合、保護者に対して料金設定の理由を明確にしている。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">令和6年度対象施設は、43施設</p>	 <p>R6年度 93%</p> <p>R5年度 95%</p>

### 結果

- ・①、②は、全ての施設で適切に設定、実施されている。
- ・③は、ほぼ全ての施設で実施されている。
- ・④の自己評価は、全ての施設で実施している。
- ・⑤の自己評価の実施及び結果を公表した施設の割合は、前年度から上昇しているが、6割程にとどまっている。
- ・⑥のガイドラインに定める苦情の受付窓口の設置・周知は全施設で実施しており、⑦の苦情を受けた場合の対応についても、全施設で速やかにかつ丁寧な解決を図っている。
- ・⑧のおやつについては、提供していない施設もあり、アンケート実施は7割程の施設に留まる。
- ・⑨のおやつ代等の保育実費について、保護者に対して料金設定の理由を明確にしている施設の割合は昨年度同様9割を超えており、ほとんどの施設で実施できている。

### 施設コメント（主なもの、参考となるもの）

- ・研修等で自己研さんに励み、職員間で知識の共有を図っている。
- ・些細なことでも遠慮なく館長や話しやすい職員に声をかけてほしいと、日頃から保護者に伝える努力をしている。
- ・苦情や要望を受けた際には、速やかに施設長と職員間で話し合い、迅速な対応を進めている。
- ・保護者への連絡は、周知徹底を図るため、コドモンを最大限活用している。
- ・おやつメニューは、毎週掲示し、保護者にも閲覧できるようにしている。
- ・館での児童の様子は、送迎時に保護者には、出来るだけ詳細に話をしている。
- ・利用登録内容を事前確認して、保護者の意向に沿った利用ができるようにしている。
- ・保護者や地域住民からの苦情・要望には、実態調査を行い、丁寧に対応することで理解を得ることができている。
- ・研修会には積極的に参加し、研修内容をすべての職員が支援に反映できるよう努めている。

- ・ 運営管理については、市のガイドライン、財団の運営規程等に基づき、適正に執行している。また、利用者のニーズを把握し、サービスの維持向上に努めている。
- ・ 自己評価の結果は保護者会において公表し周知している。
- ・ 保護者アンケートを実施し、保護者のニーズに沿った運営を心掛けている。要望、苦情には職員間で情報を共有し、速やかに対応している。

《評価項目3》育成支援の内容に関すること

評価結果				
区分*	◎	○	△	×
R6年度	77施設	7施設	0施設	0施設
R5年度	70施設	16施設	0施設	0施設

◎ ○ △ ×

△、×は該当施設なし

※おやつを提供している施設（①～⑨）

評価指標の「○」の数が9個⇒「◎」、7・8個⇒「○」、4～6個⇒「△」、3個以下⇒「×」

おやつを提供していない施設（①～⑧）

評価指標の「○」の数が8個⇒「◎」、6・7個⇒「○」、4・5個⇒「△」、3個以下⇒「×」

《評価指標》

（○の占める割合）

<p>① 児童の出欠席についてあらかじめ保護者からの連絡を確認しておくとともに、児童の心身の状況を把握するようにしている。</p>	
<p>② 実施場所での生活を通して、児童が日常生活に必要となる基本的な生活習慣を習得できるよう支援している。</p>	
<p>③ 児童が発達段階に応じた主体的な遊びや生活ができるよう支援している。</p>	
<p>④ 児童が自分の気持ちや意見を表現することができるよう支援している。</p>	
<p>⑤ 児童が悩みや相談事を話しやすい雰囲気づくりに心掛けるようにしている。</p>	
<p>⑥ 児童が安全に安心して過ごすことができるように環境を整備するとともに、緊急時に適切な対応ができるようにしている。</p>	

<p>⑦ 実施場所での児童の様子を日常的に保護者に伝え、児童に関する情報を保護者と共有するようにしている。</p>	<table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>R6年度</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>R5年度</td> <td>99%</td> </tr> </table>	年度	割合	R6年度	100%	R5年度	99%
年度	割合						
R6年度	100%						
R5年度	99%						
<p>⑧ 児童の健康状況を観察し、病気やけがの場合には、保護者と連絡を取り、迎えに来てもらったり、状況に応じて医療機関につなげたりするなど、児童が安心して回復に向かうことができるよう配慮している。</p>	<table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>R6年度</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>R5年度</td> <td>100%</td> </tr> </table>	年度	割合	R6年度	100%	R5年度	100%
年度	割合						
R6年度	100%						
R5年度	100%						
<p>⑨ おやつを提供する場合、提供する時間や内容、量等は、児童の来所時間や帰宅時間、遊びや生活の流れ、児童の状態を考慮している。</p> <p style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">令和6年度対象施設は、36施設</p>	<table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>R6年度</td> <td>97%</td> </tr> <tr> <td>R5年度</td> <td>90%</td> </tr> </table>	年度	割合	R6年度	97%	R5年度	90%
年度	割合						
R6年度	97%						
R5年度	90%						

### 結果

- ・①の出欠の事前把握については、コドモンの導入以降改善し、ほぼ全ての施設で把握できている。
- ・②～⑤の児童への支援や相談環境づくりについては、前年度と同等で、ほとんどの施設において適切に実施されている。
- ・⑥の児童の安全・安心な環境整備や緊急対応、⑦、⑧の保護者との情報共有や病気やけがへの対応については、ほとんどの施設で適切に実施されている。
- ・⑨のおやつを提供する場合の児童の来所時間等の考慮については、おやつを提供しているほぼ全ての施設で適切に実施されている。

### 施設コメント（主なもの、参考となるもの）

- ・子どもたちの主体性を重視した育成支援に心掛けている。安全に関するきまりについてはその意味理解を含めて厳しく指導するようにしている。
- ・子どもたちが職員の目の届かないところに行かないようにしており、安全に過ごせるように配慮している。
- ・保護者には、コドモンを通じて感染症や病気などの連絡をもらい、センターで病気やケガなどがあつた場合は、状況の把握をし適切な処置をして、必ず小さなケガも忘れず保護者に伝えている。
- ・児童が自分の気持ちや意見を表現できるよう話し合いの場をもつようにしている。
- ・緊急時の対応については、保護者と迅速に連絡を取るとともに、こども財団、学校（校長・教頭先生）を含めた緊急連絡網を策定している。
- ・子ども同士のトラブルがあつたときには、お互いの思いを聞き取った上で、どうしたら良かったのかを考えさせながら、自己判断力を高めてきた。
- ・保護者のお迎えの時、その児童が施設で何をしていたのか、その日の様子をできる限り話すようにしている。
- ・児童への言葉遣い、児童の気持ちに寄り添った言い方等、児童との接し方や保護者への報

告内容についても、支援員・補助員との日々のミーティングで話し合い、注意し合っている。

- ・児童が職員に話しやすい雰囲気になるように、なるべく時間と心にゆとりを持って接するようになっている。
  - ・児童の事細かな体調などの状況、家庭状況の変化などを考慮して、毎日対応している。
  - ・毎日行う職員ミーティングでは、児童の様子や安全確保、保護者や学校からの情報等を職員全体で共有している。
  - ・児童の怪我等については、適切な応急手当を実施し、緊急時に備え救急車の手配、通報訓練、医療機関の連絡先。職員連絡網の掲示、学校への協力要請手順の確認ができるように配慮している。
  - ・おやつの提供にあたってはアレルギー等の状況を保護者から聴取を行い、該当者への特別なおやつの提供を行っている。
  - ・児童が事故や怪我のないように注意深く見守ると共に、児童との対話を心がけ、楽しく安心して過ごせる環境づくりに努めている。
- また、毎日の行動計画を児童の希望も聞き作成し、主体的な遊びや生活ができるよう支援している。

＜評価項目 4＞配慮を要する児童への対応に関すること

評価結果				
区分*	◎	○	△	×
R6年度	79施設	5施設	0施設	0施設
R5年度	72施設	12施設	2施設	0施設

◎ ○ △ ×

×は該当施設なし

※評価指標の「○」の数が6個⇒「◎」、5個⇒「○」、3・4個⇒「△」、2個以下⇒「×」

＜評価指標＞

(○の占める割合)

<p>① 児童同士が生活を通して共に成長できるよう、障がいのある児童についても受入れに努めている。</p>	
<p>② 障がいのある児童の受入れの判断は、児童や保護者と面談の機会を持つなどして、児童の健康状態、発達の状況、家族の状況、保護者の意向等を個別に把握し、適切に行っている。</p>	
<p>③ 障がいのある児童の育成支援については、個々の状況に応じて、関係機関及び専門家と連携を図っている。</p>	
<p>④ 障がいのある児童の育成支援が適切に図られるように、児童の状況に応じた職員の配置や加配に努めている。</p>	
<p>⑤ 児童虐待が疑われる場合には、市又は児童相談所に速やかに通告するようにしている。また、学校及び関係機関と連携して適切に対応している。</p>	
<p>⑥ 児童間でいじめ等の関係が生じないように配慮し、いじめ等の問題が生じたときには速やかに学校に連絡し、保護者、学校、関係機関と連携して適切に対応している。</p>	

結果

- ・ ①の障がいのある児童の利用希望があった場合は、全ての施設で対応に努めている。
- ・ ②の受入判断、③の障がいのある児童の育成支援、④の必要な職員配置、加配については、9

割強の施設で対応できている。

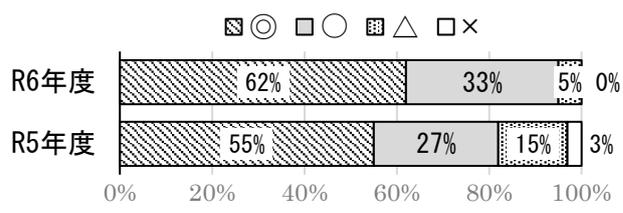
- ・⑤の児童虐待、⑥の児童間のいじめ等への対応については、全ての施設において適切な対応を行っている。

#### 施設コメント（主なもの、参考となるもの）

- ・情緒障害児を複数名受け入れているが、学校との連携を図り、学校主催の支援会議にも参加している。ただ、施設と専門機関が直接関わる事例はないが必要が生じた時点で検討したい。児童虐待が疑われるような事例も起きていないが、まずは子ども財団の指導主事に相談するなどしていきたい。
- ・課題発生時には、財団指導主事をとおして学校等関係機関との情報共有を図っている。
- ・個別に支援しないとルールが理解できない児童には、職員が交替で個別支援に入り関係を深めて、安心できる環境をととのえてきた。
- ・障害のある児童については、心身の状況を把握し職員間での情報交換を行っている。
- ・障害のある児童の受け入れ（申し込み）がないので評価が難しい 又あった場合は考慮する。
- ・配慮が必要な児童については、ロッカーや下駄箱の位置、座る席の場所等を考慮して、職員がきちんと見守れるようにしている。  
見学を希望する保護者には、施設内を見学してもらい、児童の活動状況を見ながら当該児童が安全安心に過ごせるように相談助言をしている。  
必要に応じて、学校とも連携して、統一的な指導・見守りができるようにしている。
- ・配慮が必要な児童へは日々の担当を決め、個々の対応を心掛けている。また一人の職員で抱え込むことが無いように入れ替わりながら対応するよう心掛けている。

### 《評価項目5》多様な体験活動、交流等の機会の提供に関すること

評価結果				
区分*	◎	○	△	×
R6年度	52施設	28施設	4施設	0施設
R5年度	47施設	23施設	13施設	3施設



※評価指標の「○」の数が4個⇒「◎」、3個⇒「○」、2個⇒「△」、1個以下⇒「×」

#### 《評価指標》

(○の占める割合)

① 児童に多様な体験活動、交流等の機会を定期的かつ継続的に提供している。	R6年度 94% R5年度 90%
② 小学校区における事業の円滑な実施を図るため、運営委員会、学校関係者、地域組織(母親クラブ等)、地域住民、保護者等との総合的な調整に努めている。	R6年度 100% R5年度 87%
③ 地域社会全体で児童を見守り育む機運を高めるため、地域ボランティアの掘り起こしと、活用に努めている。	R6年度 65% R5年度 63%
④ 活動の内容は特定のものに偏ることのないよう配慮し、児童の要望を反映するように努めている。	R6年度 98% R5年度 91%

#### 結果

- ・①の体験活動等については、前年度より4ポイント上昇し、9割を超える多くの施設で提供できた。
- ・②の運営委員会等の関係機関との調整については、全ての施設で実施できた。
- ・③地域ボランティアの掘り起こし・活用については、依然課題であるものの、前年度より2ポイント改善し、施設との連携・活用が進んできている。
- ・④については、ほぼ全ての施設で要望把握に努めている。

#### 施設コメント(主なもの、参考となるもの)

・アドバイザーさんを多く活用し様々な体験やセンター独自の誕生会などの行事などきめ細かく計画している。活動については、写真などに記録しセンターだよりに記載したりし保護者にも伝える。地域ボランティアの人から太鼓リズム指導、消しゴムハンコの作品作りなどをしてもらい活用に務めている。活動内容については、子ども達の要望を聞く機会を設けたりしている。

- ・冬期間の室内遊びのための DVD、カードゲーム、本等の購入する際には、児童から要望を聞いて購入した。
- ・ドッジボール、将棋、折り紙など子どもたちが楽しみにしている活動ができた。地域の更生保護女性会のボランティアも定期的に来ていただいた。  
今後もアドバイザー活動の充実を図り、児童の要望を取り入れ、ジャンルを増やしていきたい。
- ・アドバイザーの活用などを通して様々な体験活動ができるよう運営を工夫するとともに、こども達の意志を尊重した運営を志している。
- ・地域で活動するアドバイザーの方々を中心に要請し、地域とのつながりを大切にしている。
- ・母親クラブと連携し、地域のボランティアによるコンサート開催を行ってる。
- ・児童の作成した作品などを地域の文化祭へ出品し、地域に理解をしてもらう機会を作っている。

《評価項目6》安全管理に関すること

評価結果				
区分*	◎	○	△	×
R6年度	78施設	6施設	0施設	0施設
R5年度	72施設	10施設	4施設	0施設

◎ △ ×  
 R6年度 93% 7% 0%  
 R5年度 84% 12% 4%  
 0% 20% 40% 60% 80% 100%  
 ×は該当施設なし

※おやつを提供している施設（①～⑨）

評価指標の「○」の数が9個⇒「◎」、7・8個⇒「○」、4～6個⇒「△」、3個以下⇒「×」

おやつを提供していない施設（①～⑧）

評価指標の「○」の数が8個⇒「◎」、6・7個⇒「○」、4・5個⇒「△」、3個以下⇒「×」

《評価指標》

（○の占める割合）

① 児童の手洗いやうがいを励行するなど、日常の衛生管理に努めている。	<p>R6年度 100% R5年度 100%</p>
② 感染症の発生状況について情報を収集し、感染症の発生や疑いがある場合には、二次感染を防止するための措置を講じるようにしている。	<p>R6年度 100% R5年度 100%</p>
③ 実施場所及びその周辺の設備等の安全性について日常的に点検している。	<p>R6年度 100% R5年度 98%</p>
④ 事故及びけがの防止に向けた対策や発生時の対応に備えた訓練又は研修を実施している。	<p>R6年度 100% R5年度 97%</p>
⑤ 事故及びけがが発生した場合には、速やかに適切な処置を行い、速やかに保護者に連絡するようにしている。	<p>R6年度 100% R5年度 100%</p>
⑥ 災害等が発生した場合に迅速かつ適切に対応できるように定期的に訓練を実施している。	<p>R6年度 95% R5年度 93%</p>

<p>⑦ 市及び学校等関係者と連携を図り、地域における児童の安全確保及び安全点検に関する情報の共有に努めている。</p>	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>割合</th></tr> <tr><td>R6年度</td><td>99%</td></tr> <tr><td>R5年度</td><td>90%</td></tr> </table>	年度	割合	R6年度	99%	R5年度	90%
年度	割合						
R6年度	99%						
R5年度	90%						
<p>⑧ 災害等が発生した際に保護者及び市、学校等に速やかに連絡できるよう連絡体制を整備している。</p>	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>割合</th></tr> <tr><td>R6年度</td><td>100%</td></tr> <tr><td>R5年度</td><td>95%</td></tr> </table>	年度	割合	R6年度	100%	R5年度	95%
年度	割合						
R6年度	100%						
R5年度	95%						
<p>⑨ おやつを提供する場合には、食物アレルギー及び窒息事故の防止に留意するとともに、食中毒防止のための衛生管理を徹底している。</p> <p style="text-align: center;">令和6年度対象施設は35施設</p>	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>割合</th></tr> <tr><td>R6年度</td><td>97%</td></tr> <tr><td>R5年度</td><td>100%</td></tr> </table>	年度	割合	R6年度	97%	R5年度	100%
年度	割合						
R6年度	97%						
R5年度	100%						

**結果**

- ・①～③の日常的な衛生管理や感染症対策、安全管理等については、全ての施設で徹底されている。
- ・④、⑥の訓練・研修の実施割合は年々上昇しており、④については全ての施設で、⑥については、約9割強の施設で必要な訓練を実施している。
- ・⑤の事故やけがへの対応は全ての施設で徹底されている。
- ・⑦の情報共有についてはほぼ全ての施設、⑧の連絡体制整備については、全ての施設で実施できている。
- ・⑨おやつの提供の際の衛生管理等については、前年度よりポイントが下降したが、ほぼ全ての施設で徹底されている。

**施設コメント（主なもの、参考となるもの）**

- ・感染症の二次感染を防ぐため消毒や換気、児童の手洗いの徹底、職員間で防止措置を共有している。
- ・避難訓練、火災、地震、水害を想定し行っている。
- ・おやつの提供では、食物アレルギーを持つ子などの特性を職員間で把握し安全に提供出来るように務めている。
- ・インフルエンザ等の感染発生の際には、学校連絡網で連絡してもらっている。
- ・プラザの始まる前、教室内のロッカー・机・鉛筆削りなど細部まで衛生管理に心がけている。
- ・昼食を提供するようになったため、職員に対し確認の意味も込めて消防局の食物をのどに詰まらせたときの対応のビデオ研修を実施した。
- ・食物アレルギーについては、細心の注意をはらい、必要な場合は、当該児童の保護者と話し合いながらおやつを提供している。
- ・避難訓練（火災、地震）を実施し、迅速に対応できるように努めている。
- ・アレルギーの把握を出来るだけ早期に実施し、個々にお話を聞いて、該当者にはメニュー票の他に「成分表」のコピーを渡している。

- ・危険な場所や状況を職員全体が共有し、活動場所での見守りに役立てている。
- ・事故等が発生したときは、安全な場所でケガ等の状況を確認し、応急処置をするとともに、保護者へ連絡する。(必要に応じて救急車の要請)
- ・事故等の検証をして、再発防止に向けて職員全員に周知徹底している。
- ・毎日、机、ボール等消毒し、長期休みの昼食前、おやつ前は、手洗いをするように伝えている。
- ・事故や怪我を未然に防ぐように、様々な想定を考えて注意をするようにしているが、その分子ども達の楽しみが減らないように努めたい。
- ・エピペンの必要な児童は保護者と情報共有し、研修を実施している。

《評価項目7》保護者、学校及び地域との連携協力に関すること

評価結果				
区分*	◎	○	△	×
R6年度	78施設	5施設	1施設	0施設
R5年度	63施設	22施設	1施設	0施設

※評価指標の「○」の数が4個⇒「◎」、3個⇒「○」、2個⇒「△」、1個以下⇒「×」

《評価指標》

(○の占める割合)

① 保護者との信頼関係を築くよう努めるとともに、子育てのこと等について保護者が相談しやすい雰囲気づくりを心掛けている。	R6年度: 100% R5年度: 100%
② 保護者から相談がある場合には、保護者の気持ちを受け止め、対応している。	R6年度: 100% R5年度: 100%
③ 児童の毎日の生活が学校、実施場所、家庭の間で連続性をもって円滑になるよう、学校と情報交換を行い、連携を図っている。	R6年度: 99% R5年度: 97%
④ 児童が地域の中で健やかに育つことができるよう、運営委員会及び民生委員・児童委員、地域組織(母親クラブ等)、児童に関わる関係機関等との情報交換、情報共有及び相互交流を行い、連携を図っている。	R6年度: 93% R5年度: 76%

結果

- ・①、②の保護者との信頼関係構築、相談対応については、全ての施設で適切な対応をしている。
- ・③について、ほぼ全ての施設で、学校との情報交換・連携を進めている。
- ・④について、母親クラブ等の活動、地区の運営委員会、地域の児童福祉関係者等との連携は、前年度より大幅に改善した。

施設コメント(主なもの、参考となるもの)

- ・保護者の話を聞き取る傾聴の姿勢をもった職員がほとんどで、保護者も安心して相談できていると思われる。
- ・地域の自治協議会や運営委員会に参加したり、近隣の方とも挨拶をかわし相互交流を図り地域の中で健やかに育つことが出来るよう心がけてる。
- ・学校の授業参観日にセンターでも見学会を設けた事により、保護者との距離間が縮まり相

談しやすい雰囲気作りが出来た。

- ・児童の動向に注意して、いつもと違う状況のときは、保護者や学校の担任とも連携して、統一的な支援ができるようにしている。
- ・迎への引き渡し時、保護者とのささやかな情報交換の中で、悩みを聞くなど信頼関係を築く努力を重ねている。

